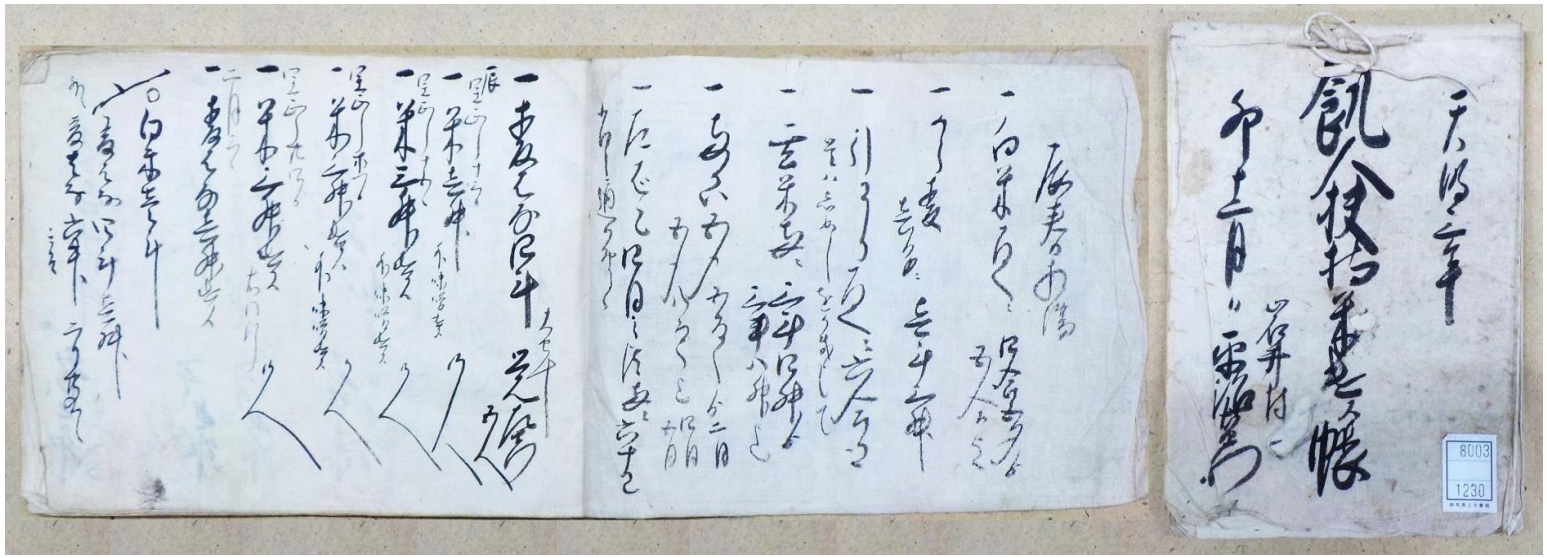
⑨〔飢人扶持米遣ス帳〕（部分）

天明３年（1783）１２月

被災民に対して支給された「お救い米」などの記録です。時代を問わず被災民がさしあたってすぐに困ることは食料の確保です。岩井村でも領主からの食料物資の援助がなされました。扶持米の支給は天明３年の１２月頃より記され、家ごとに米や麦、味噌などが支給されたことがわかります。耕地が泥入りになった村々にとって「お救い米」の支給が村での生活を維持するための生命線であったことが想像されます。

伊能光雄家文書　P8003　№1230



【史料⑨】〔飢人扶持米遣ス帳〕天明三年十二月

〔釈文〕

（表紙）

天明三年
飢人扶持米遣ス帳
岩井村
卯十二月　平治右衛門

（中略）

辰春相場

一　白米百文ニ　四合五勺ゟ
　　五合迄
一　のし麦壱分ニ　壱斗ニ升
一　引ワリ百文ニ　六合ツヽ
　　是ハしかしをかき申上候
一　玄米両ニ　三斗四升ゟ
　　三斗八升迄
一　両かい（両替ヽ）　五貫五百文ゟ　二月
　　五貫八百文迄　四月
　　五月
一　た者（ば）こ四月之頃両ニ六十わ
　　有之通り御座候
　　大セ十
一　麦はな四斗　覚左衛門
　　五人

辰

閏正月十三日
一　米壱升　同人
　　外味噌遣ス（ほか　つかわ）

閏正月十五日
一　米三升遣ス　同人
　　外味噌遣ス

閏正月廿一日
一　米三升貰　同人
　　外味噌遣ス

閏正月廿四日
一　米三升遣ス　同人
　　右同断

二月三日
麦はな壱升遣ス
〆　○白米壱斗
　　麦はな　四斗壱升
外ニ　麦はな　六升　二月廿九日

（後略）

（P８００３伊能光雄家文書№１２３０）